



会長	山田 正
幹事	武川 毅
会報	村上 武彦 高田 次雄 森田 峯男
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2706回例会 2019. 8. 29 No.8

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・山田正会長 及川長五郎会員の2回目のスピーチに御期待申し上げます。
- ・菅野幸一郎会員 昨日6人目の孫が誕生しました。これで男の子3人、女の子3人となりました。及川長五郎会員の2回目のスピーチに期待します。
- ・及川長五郎会員 本日はスピーチ担当、よろしくお願ひ致します。
- ・布施孝之会員 及川長五郎会員のスピーチに期待。
- ・村上武彦会員 及川長五郎会員のスピーチに期待。
- ・飯塚仁哉会員 及川長五郎会員の2回目のスピーチを楽しみにしています。
- ・佐藤幸一会員 及川長五郎会員のスピーチ、楽しみにしております。
- ・江川元徳会員 今でも国際紛争が多くて、ロータリーの目的、第4国際理解・親善・平和の推進大事。
- ・八谷郁夫会員 及川長五郎会員のスピーチに期待。
- ・高田次雄会員 九州北部大雨、被災された方々に御見舞申し上げます。本日のスピーチ、及川長五郎会員勉強させて下さい。
- ・佐藤静市会員 及川長五郎会員のスピーチを歓迎。
- ・菅原慶一会員 及川長五郎会員のスピーチ、大いに期待します。
- ・二階堂恭子会員 及川長五郎会員のスピーチ、常にお話する事もなかなかなく、今日はスピーチを楽しみにしております。
- ・武川毅幹事以下 本日のスピーチに期待。
千葉吉男会員 佐竹孝行会員 遠藤光則会員
猪股育夫会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員
熊谷敏明会員 高橋利光会員 布施孝尚会員

太田陽平会員 岩淵栄市会員 杉田広仁会員
佐藤早智子会員 及川富男会員 大畑好司会員
伊藤幸子会員 佐藤哲弥会員 後藤和人会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 山田正会長

先週に引き続き、会員増強月間に関連して述べさせて頂きます。RIでも会員増強活動は永遠のテーマで、地区、分区が如何に真剣に取り組むかが重要とされ、会員増強活動は真にロータリーの核となる活動です。八谷郁夫パストガバナーは、職業人の奉仕活動であるロータリーでは「会員事業の適正利益の健全化」も増強活動の一つと述べております。

又、ロータリーの友、8月号に、91歳でロータリー歴27年の横浜中クラブの杉島和三郎増強委員長の記事がありました。彼は「クラブ活性化のカギは会員増強」であり、「会員増強は中堅会員のみの役割にあらざり」としております。ここに杉島委員長の勧誘ポイントをお点検いただき、参考にしていただきたいと思います。

1. 奉仕活動への理解者の選定（奉仕に興味があれば活動が止まらない）
2. 例会に出られる方への声掛け（欠席は意味がなく、出席できる方への声掛け）
3. 勧誘時には入会金や会費を周知する（入会意識があるものの、入会金や会費で諦める方もあり、会員を続ける為に大切なことは、はっきりと伝える）
4. メークアップ制度の説明（海外を含み、他クラブへの例会参加可能を伝える）
5. 新しい出会いは、ビジネスチャンスに繋がる可能性（ロータリークラブには出会いが沢山ある）
6. 入会候補者の風評は、会員や知人にしっかり聴取する（第三者の評価が大切である）
7. 勧誘のリーフレットを持ち歩く（リーフレットを利用し短時間に相手の理解度を深める）

8. 「数打てば当たる」は時間の無駄（決めた方に丁寧に勧誘し納得を頂き入会をいただく）

以上、佐沼RCの参考にしたいものです。

因に、杉島氏の入会きっかけは、当時の商談相手の先輩から「ロータリーに入会すれば契約する」と言われて入会、きっかけは不純でしたが、今はしみじみと入会出来たことに感謝です、とありました。

又、ロータリーは、異分野リーダーの新たな知見や生き方を学び、奉仕活動の社会的ゆがみ等の認識を踏まえ「微力ながらも努力の大切さ」に気付かされました。そして91歳の元気は「ロータリー仲間との親睦で心が癒される」からであり、特にベテラン会員の「ロータリーに入って良かった」との言葉には説得力があり、今こそベテラン会員は会員増強活動に向け、行動を起こす時と述べております。

我が佐沼RCレジェンドの皆様方には、是非とも杉島増強委員長に負けず劣らず、現役としての今後の活躍にご期待申し上げます。

我が佐沼RCでは、例会でのロータリーソングを通例としていますが、ここでソングの起源をご紹介します。

「ロータリーソング」の導入提唱者は、5番目のロータリアンとして著名な「ハリー・ラグルス」と言われ「ザ・ロータリアン」の発刊者でもあります。

彼は一見、無愛想でしたが、当時のクラブ運営は激論で険悪なムードが常態化「もはや解散か？」と。ある日「おい、みんなで歌おう！」と発言、以来例会時に何曲かを歌っているうちに、やがてクラブは親睦を取り戻し、解散の危機を脱したと言われております。

幹事報告 武川毅幹事

- ・米山梅吉記念館より
- 1. 館報 秋号 (vol 34) が届く
- 2. 賛助会入会のお願ひ

各委員会報告

- ・国際奉仕委員会（遠藤光則委員長）
世界大会参加に関する打ち合わせ
日 時 9月12日(木) 例会終了後
場 所 ホテルサンシャイン佐沼

今週のスピーチ

「甲子園大会の歴史」 及川長五郎会員
先週の木曜日、今年の夏の甲子園大会が終わりました。100年の歴史がある「全国高等学校野球大会」について、さらっとご紹介させていただきます。

○発祥

- ・開催年 1915年（大正4年）の8月
- ・開催地 大阪府豊中グラウンド（多目的グラウンド）
- ・主 催 朝日新聞大阪本社
- ・名 称 第1回全国中等学校優勝野球大会
- ・理 由 スタジアムの有効利用として阪急電鉄提案
- ・目 的 中等教育野球の全国チャンピオンを決めるため

・方 法 代表10校のトーナメント戦

村山龍平朝日新聞社長による始球式で、ストライクでそれがカウントされる。決勝戦は、秋田中と京都二中で行われ、京都二中が優勝。ここで秋田中が

勝っていれば東北に優勝旗がきていたこととなります。その決勝戦も延長13回で勝敗が決まりました。

○初期の変更点

- ・会 場 兵庫県鳴尾球場（現西宮市）
第3回大会（1917年・大正6年）から、第9回大会（1923年・大正12年）まで

・所有者 阪神電鉄

第9回大会で鳴尾球場に近い地元の甲陽中が優勝し、中等学校野球の人気のピークに。

1924年（大正13年）、甲子の年、第10回大会は、本格的な野球場建設の提案を受け竣工し、甲子園大運動場と命名。その後、阪神甲子園球場と名称変更。

○エピソードの紹介

1. 敗者復活制度（第2回大会、第3回大会に実施）
全国大会参加校は12校で、2回戦進出校が3校のため、第2回大会では1回戦敗退校から2校、第3回大会では4校による敗者復活戦が行われた。第3回大会で敗者復活戦から勝ち上がった愛知一中が決勝まで進み優勝した。敗者復活制度に疑問が生じ、廃止となる。
2. 甲子園の土（持ち帰りが、いつ頃定着したか不明）
定着以前の例として
・1937年（昭和12年）の第23回大会で決勝で敗れた熊本工業・川上哲治投手が持ち帰る。
・1946年（昭和21年）の第28回大会で準決勝で敗れた東京高等師範付属中が監督の指示で持ち帰る。
・この大会は阪急西宮球場を使用
・1949年（昭和24年）の第31回大会で小倉北高校・福嶋一雄投手が持ち帰る。
・1958年（昭和33年）の第40回大会で沖縄首里高校が持ち帰るが、アメリカ統治のため検疫で没収。
3. 史上初の決勝戦の引き分け再試合
1969年（昭和44年）第51回大会、松山商対三沢高、延長18回0対0で引き分け再試合。投手は、井上明（松山商）、太田幸司（三沢高）
4. 史上唯一の延長戦ノーヒットノーラン
1957年（昭和32年）第39回大会2回戦。早稲田実業高校の王貞治投手が、寝屋川高校を相手に延長11回を投げ切り、ノーヒットノーランを達成（1対0）
5. 優勝旗（大深紅旗）
・初代 京都の高島屋が西陣織職人に依頼、製作費1,500円（現在貨幣価値で約1,000万円）
・二代目 1958年（昭和33年）第40回記念大会から
・三代目 2018年（平成30年）第100回記念大会から
6. 人為的ミスによる4アウト事件
1982年（昭和57年）第64回大会2回戦、益田高対帯広農高、9回表益田の攻撃、帯広農高の投手は第3アウトに気づいていたが、4人の審判員ほか各選手もそれに気づかないという人為的なミスにより、次の打者を出した。第4アウト目を取り消された。
7. 全国大会初の毎回得点
1985年（昭和60年）第67回大会2回戦、PL学園対東海大山形の試合に於いて、PL学園が春夏を通じて全国大会では史上初の毎回得点を達成。
8. 勝率10割、優勝確率100%の学校
1965年（昭和40年）第47回大会で初出場を果たした三池工業は、春夏を通じて初めの甲子園であったが、5試合で5勝0敗、勝率10割、優勝確率100%。
— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。